

王羲之書法集粹

(旁注釋文)

書聖神品



中國書籍出版
蔡茂友 主編

王羲之書法集粹（旁注釋文）



中國書籍出版社
蔡茂友 主編

图书在版编目 (CIP) 数据

书圣神品 王羲之书法集粹 (旁注释文) /蔡茂友主编。
北京：中国书籍出版社，1995.9
ISBN 7-5068-0485-9

I. 书… II. 蔡… III. 汉字-书法-中国-东晋时代 IV.
J292.23

中国版本图书馆 CIP 数据核字 (95) 第 13812 号

责任编辑：孙煜华
封面设计：冯 磊

*

中国书籍出版社出版发行
(北京市西城区西绒线胡同甲 7 号 邮政编码：100031)
山东新华印刷厂德州厂印刷 全国新华书店经销

*

889 毫米×1194 毫米 16 开本 14.5 印张
1995 年 10 月第 1 版 1995 年 10 月第 1 次印刷

*

印数：1—10000 册 定价：28.00 元



前言

王羲之，字逸少，晉代琅琊臨沂（今山東臨沂）人，居會稽山陰（今浙江紹興）。因官至右軍將軍，人稱「王右軍」。王羲之是中國歷史上著名的書法巨匠，被后人奉為「書聖」，其作品被贊為「神品」。

王羲之楷行草兼能。他少時學書刻苦，后博采眾家之長。一方面繼承各家字體優秀筆法，同時亦能「增損古法，裁成今體」，創造了妍美流暢的王氏書體，留下了世人稱譽的羲之神品。

王羲之楷學鍾繇，草學張芝。其楷書留傳很少，約占其全部書法作品之一分。其草書（包括行、草互見、章草）「獨具風範，兼撮衆法」，備成一家，字字姿態橫生，飄逸雋秀，約占其全部書法作品之六分。而約占三分的行書在章法結體中又最能顯現出王羲之欹側取妍、瀟灑飄逸的藝術風格。

王羲之的書法「古今莫二」，在我國書法藝術史上享有特殊地位，對后世影響極大。他一生創制的書法作品頗多，但墨迹大多散佚，到明清時，真迹已一無所存，只剩下少部分唐人的鈎摹拓本。宋代淳化、大觀年間所刻的碑帖，大都是些零篇短札，而這些碑帖的宋拓原本，也已屈指可數。

爲盡可能全面展示王羲之書法風範，我們編選了這本「書聖神品」，共收楷、行、草等碑帖九十九種。行書草書均旁注釋文，希望能為書法愛好者臨池摹寫提供便利條件。

目 錄

王羲之楷書集粹

樂毅論	(三)	官奴帖	(一〇一)
孝女曹娥碑	(九)	快雪時晴帖	(一〇四)
黃庭經	(一一)	足下家帖	(一〇五)
佛遺教經	(一一一)	奉告帖	(一〇六)
霜寒帖	(四三)	昨書帖	(一〇七)
東方朔畫贊	(四四)	二謝帖	(一〇八)
告誓文	(四九)	庚新婦帖	(一一一)
平安帖	(一一二)	何如帖	(一一三)
奉橘帖	(一一四)	十月五日帖	(一一五)
蘭亭序(馮承素本)	(五九)	姨母帖	(一一七)
鍾繇千字文	(六七)	罔極帖	(一一九)
喪亂帖	(九六)	省書增感帖	(一一〇)
頻有哀禍·孔侍中帖	(九八)		

王羲之草書集粹

此諸賢帖 (一五二)

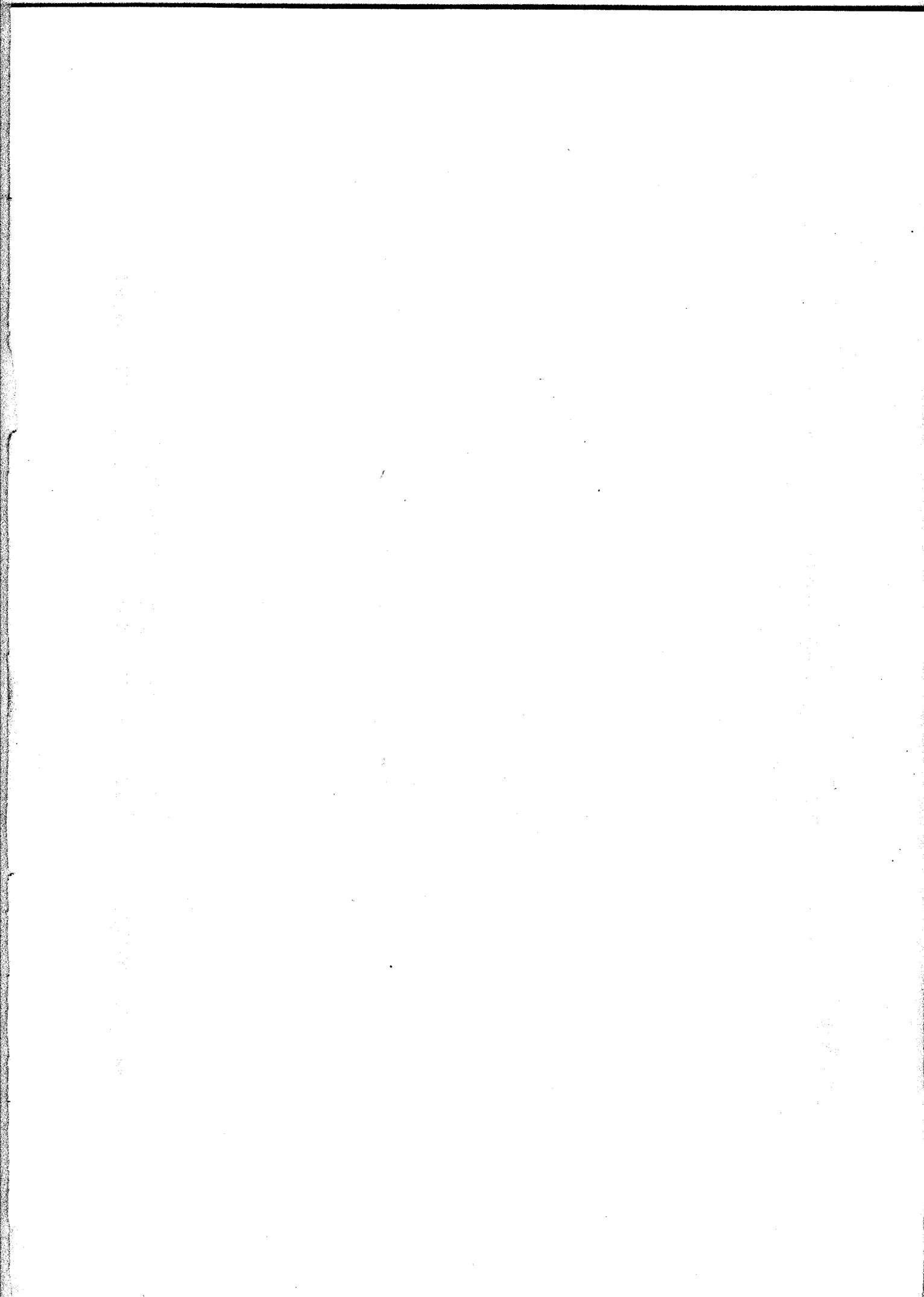
郗司馬帖	(一三三)	八日帖	(一五三)
逸民帖	(一二四)	不審帖	(一五五)
龍保帖	(一一五)	得西問帖	(一五六)
積雪帖	(一一六)	中郎帖	(一五七)
清晏帖	(一二八)	發慮帖	(一五八)
瞻近帖	(一二九)	飛白帖	(一五九)
朱處仁帖	(一三一)	安西帖	(一六〇)
邛竹帖	(一三二)	賢室帖	(一六一)
蜀都帖	(一三三)	遠婦帖	(一六二)
知足下帖	(一三六)	衰老帖	(一六三)
遠宦帖	(一三七)	侍中帖	(一六四)
都邑帖	(一三九)	西問帖	(一六五)
胡母帖	(一四一)	虞義興帖	(一六六)
兒女帖	(一四三)	秋中帖	(一六七)
講堂帖	(一四五)	行穰帖	(一七〇)
胡桃帖	(一四七)	初月帖	(一七一)
虞安帖	(一四九)	思想帖	(一七二)
二謝帖	(一五一)	袁生帖	(一七五)

熱 日 帖	(一七六)	得 書 帖	(一〇一)
力 東 帖	(一七七)	足 下 帖	(一〇四)
擇 藥 帖	(一七八)	雨 晴 帖	(一〇五)
鄉 里 人 帖	(一八〇)	大 都 帖	(一〇七)
諸 懷 帖	(一八二)	遷 轉 帖	(一〇八)
長 素 帖	(一八四)	清 和 帖	(一一〇)
司 州 帖	(一八五)	知 欲 東 帖	(一一一)
每 念 長 風 帖	(一八七)	節 日 帖	(一一三)
得 萬 書 帖	(一八八)	小 佳 帖	(一一四)
適 得 書 帖	(一八九)	雪 候 帖	(一一五)
省 飛 白 帖	(一九一)	如 兄 子 書 帖	(一一六)
汝 不 帖	(一九二)	阮 公 帖	(一一七)
吾 怪 帖	(一九四)	尊 夫 人 帖	(一一九)
闊 別 帖	(一九五)	二 月 廿 日 帖	(一一〇)
臨 川 帖	(一九七)	今 因 帖	(一一一)
小 大 悉 帖	(一九八)	道 意 帖	(一一二)
破 羌 帖	(一〇〇)	鶴 等 帖	(一一三)
今 日 熱 甚 帖	(一〇一)	大 道 帖	(一一四)

黑血蟲口唇

王海之於書林錄

出處不詳於此錄



樂毅論

世人多以樂毅不時拔莒即墨為劣是以叙而論之

夫求古賢之意宜以大者遠者先之必迂迴而難通然後已焉可也今樂氏之趣或者其未盡乎而多劣之是使前賢失指於将来不無惜哉觀樂生遺燕惠王書其殆庶乎機合乎道以終始者與其喻昭王曰伊尹放

大甲而不疑大甲受放而不怨是存其業於至公而以天下爲心者也夫欲極道之量務以天下爲心者必致其主於盛隆合其趣於先王苟君臣同荷斯大業安矣于斯時也樂生之志千載一遇也亦將行千載一隆之道豈其苟躡當時心於無弁而已哉夫無弁者非樂生之所脩疆燕而廢道又非樂生之所求也不屑苟得則心無近事不求小成斯意無

天下者也則舉齊之事所以運其機而動山
海也夫討齊以明燕主之義此兵不興於為
利矣圍城而害不加於百姓此仁心著於遐
邇矣舉國不謀其功除暴不以威力此至
德全於天下矣邁全德以率列國則幾於
湯武之事矣樂生方恢大綱以縱二城牧民
明信以待其弊使即墨莒人顧仇其上頼釋
干戈賴我猶親善守之智無所之施然則

求仁得仁即墨大夫之義也任窮則從微子
適周之道也開彌廣之路以待田單之徒長
容善之風以中齊士之志使夫忠者遂節通
者義著昭之東海屬之華裔我澤如春下
應如華道光宇宇宙賢者託心鄰國傾慕四
海延頸思戴燕主仰望風聲二城必從則王
業隆矣雖淹留於兩邑乃致遠於天下不幸
之變世所不滿敗於垂成時運固然若乃

逼之以威刺之以兵則攻取之事求欲速之功
使燕齊之士流血於二城之間侈殺傷之殘示
四國之人是縱暴易亂僉以成私鄰國望之其猶
荷上席既大墮稱兵之義而喪濟弱之仁鬻齊
士之節廢廉善之風掩宏通之度棄王德之隆
雖二城幾於可拔霸王之事逝其遠矣然則
燕雖無齊其與世主何以殊哉其與鄰敵何
以相傾樂生豈不知拔二城之速了哉顧城拔

而業乖豈不知不速之致變顧業乖與變
同由是言之樂生不屠二城其亦未可量也

晉右軍將軍王羲之書樂毅論

貞觀六年十一月廿五日中書

令河南郡開國公臣褚遂良奉

勅審定及排額



孝女曹娥碑

孝女曹娥者上虞曹盱之女也其先與周同禮
末曹荒沈爰来適居盱能撫節安歌婆娑樂
神以漢安二年五月時迎伍君逆濤而上為水所
淹不得其屍時娥年十四號慕思盱哀吟澤畔
旬有七日遂自投江死經五日抱父屍出以漢安
延于元嘉元年青龍在辛卯莫之有表度尚設

祭之誄之辭曰

伊惟孝女睡壁之安編其返而令色孔儀窈
窕洞女巧唉情子宜其家室在治之陽待禮未
施號喪蒼伊何無父孰怙訴神告哀赴江永
號視死如歸是以眇然輕絕投入沙泥翻孝
女丘沉丘浮或泊洲輿或在中深或趨湍瀨或
還波濤千夫失聲悼痛萬餘觀者填道雲集
路衢深淚掩涕驚慟國都是以哀姜矣市杞崩